

(2) 平成26 年度実施事業報告

	支援対象等	実施事業名等	事業内容
大学 支援 事業	学部学生	保険加入支援事業	・学部新生の内 1306 名の教育後援会入会者に対して「学生教育研究災害傷害保険(「学研災」)」、「学研災付帯賠償責任保険(「付帯陪責」)」の4年分の加入料を負担。合計で 730.1 万円。
		短期留学支援事業	国際交流協定締結大学等への学部学生 12 名(教育後援会入会者)の短期留学(語学研修を含む)に旅費等を補助。57.4 万円。
		キャリアデザイン・就職支援事業	①就職支援(就職支援室主催・教育後援会後援) ・高原記念館(学友ホール・特別会議室)で就職ガイダンス「就職活動の基礎知識」、「自己分析の考え方」、「業界研究・企業研究」、「面接の心得」を実施。学生の参加者数は 47 日間で延べ 2385 名 ・また企業合同説明会を実施。延べ 101 日間で約 915 社、14963 名の学生の参加を得た。20 万円 ②就職関連図書を学情センターに寄贈。10 万円
		クラブ・サークル支援事業 および 学生行事助成事業	①活発な活動を行っているクラブ・サークルの 70 団体に活動支援金合計 685 万円を贈呈。 ②大学祭、ボート祭等の学生行事 6 団体に対して助成金合計 190 万円を贈呈。
		TOEIC・TOEFL 受験料補助事業	年 6 回学内で実施されたカレッジ TOEIC・TOEFL-ITP の受験者 126 名の受験料合計 26.4 万円を負担(会員 2000 円、公開 TOEIC2800 円、TOEFL5000 円、年 1 回限り)。
		顕彰事業	①大学選考の 2 年次学生 35 名に「学修奨励賞」の副賞(図書カード@5,000×35 名 17.5 万円)、各学部(医学部は医学科と看護学科)最優秀成績修得の 4 年次学生(医学科は 6 年次学生) 9 名に対して卒業式で「学業成績優秀賞」の副賞(高級腕時計 63 万円)を授与 ②課外活動の 5 団体・4 個人に「優秀課外活動賞」、9 個人に「資格試験優秀成績賞」(国家公務員 I 種、公認会計士・TOEIC 900 点以上獲得者)を賞金で合計 67 万円授与。
		学生国際交流支援	留学生と日本人学生との国際交流会を大学と共催で春・冬 2 回実施。懇親会費等合計 30 万円負担。
	緊急就学支援事業		
	大学院学生	保険加入支援事業	・大学院新生の内 39 名の教育後援会入会者に対して「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」、「学研災付帯賠償責任保険(付帯陪責)」の加入料負担。合計 12.1 万円。
		大学院学生旅費等補助事業	国内 5 万円、国外 10 万円を上限に学会・研究会等での論文発表に要する旅費等の補助を国内 7 名、国外 10 名の教育後援会入会者に対して実施。採択率は国外・国内とも 100% 補助額合計 94.2 万円。
	大学院生 教員	女性研究者支援事業	女性研究者奨励賞[岡村賞]副賞(大学院生奨励賞: Tran Ti An 氏、博士研究員奨励賞: 山下(川野)絵美氏)各 5 万円、女性研究者特別賞[岡村賞]副賞: 藤井律子准教授 10 万円。

大学 支 援 事 業	教職員	顕彰事業	優秀教育賞	①森 一彦教授(生活科学研究科): 学生が地域と関わりながら課題解決に取り組む実践教育に力を注ぎこれからの地域再生に向けた人材の育成教育に貢献。10万円 ②渡邊席子准教授(大学教育センター): 多彩で学生にとって魅力的な教材と教育方法を開発するなど大学生のキャリア発達支援プログラム開発にかかる実践教育に貢献。10万円
			優秀テキスト賞	①大阪市立大学理学部生物学科『生物実験への招待』 ②臼杵克之助准教授(理学研究科)他2氏『有機スペクトル解析』 ③枘田幹也教授(理学研究科)『格子からみえる数学』 ④神竹道士教授(文学研究科)『ドイツ文法ベーシック3』 合計20万円。
	学部・研究科	学部・研究科学生支援事業		法学研究科、文学研究科、経済学研究科、理学研究科、工学研究科、医学研究科、生活科学研究科、創造都市研究科の学生の教育・研究活動に要する費用の一部を支援。78.2万円。
	環境整備	学内環境整備事業		「庭ラボ」学生アイデアコンペを実施し、応募16点から最優秀賞を決定。平成27年度に実施設計と整備工事の予定。19.6万円。
	図書整備	学生選書助成事業		学術情報総合センターの学生選書事業としてセンターに図書を寄贈し、教育後援会寄贈図書コーナーを設けている。50万円。
保護者	新入生保護者懇談会		5月31日開催。第1部: 全学懇談会、第2部: 学部別懇談会、第3部: 懇親会。273名参加。35.4万円。	
	保護者交流支援事業		①7月19日 チンチン電車で訪ねる～住吉大社と万葉集～」参加者78名。 ②10月18日 講演「理学部附属植物園の魅力」と植物園見学 参加者64名。 ③11月29日 “疲労”について学ぶ一渡辺教授のお話と疲労度の測定 参加者52名。 合計84.4万円。	
会 員 サ ー ビ ス 事 業	全会員	情報発信サービス		教育後援会ホームページを運用し、教育後援会支援事業の実施案内・募集案内を掲載するとともに、書類の電子化により申請手続きの簡素化および迅速化を図る。
		会報の発行		2月上旬に「教育後援会報」第2号発行 31.4万円。
	保護者会員・支援会員・旧学友会員	電子メール利用サービス		旧学友会員に生涯メールアドレスを供与し、メール転送サービスを実施。
		KBSクラブ運営		平成21年10月以降、新阪急ホテル系会員制クラブ「関西文化カン」に法人会員「大阪市立大学教育後援会(旧学友会)クラブ(OCUESA Club)」として加入。保護者会員、支援会員および旧学友会員に利用会費1万円を納めることによって利用できるサービスを提供。59.7万円。